



放送文化基金賞(放送技術部門)を受賞 TVh「バーチャルマスターオペレーター(VMO)」

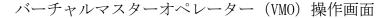
放送局の BCP 強化・業務効率化に貢献、遠隔での統合監視を可能に

(株)テレビ北海道(TVh、札幌市)が開発した、マスター(主調整室)業務のリモートオペレーションを実現するシステム「バーチャルマスターオペレーター (VMO)」が、公益財団法人放送文化基金が主催する「第51回放送文化基金賞(放送技術部門)」を受賞しました。

本賞は、視聴者に感銘を与えた優れた番組や配信コンテンツ、放送文化・放送 技術の発展に顕著な功績を残した個人・グループを顕彰するものです。

今回の受賞にあたっては、VMO がマスター監視業務の効率化や、災害・障害発生時における BCP (事業継続計画)強化に貢献、放送局間の統合監視を可能にした点が高く評価されました。また、テレビ北海道が 2024 年 12 月に㈱エフエム北海道 (AIR-G、札幌市)の夜間マスター監視業務を受託、VMO を活用した遠隔監視をすでに実施していることも受賞理由です。

テレビ北海道では、VMO 技術の普及に向け、放送局に加えリモートオペレーションを必要とする様々な分野での普及に尽力して参ります。







▼バーチャルマスターオペレーター(VMO)

放送局のマスター(主調整室)業務をはじめ、ビル・工場・インフラ設備などの監視業務をリモート運用できるシステムです。パソコン画面に各種監視ルームを忠実に再現し、実際の監視室にいるのと同様にリモートで監視・制御ができます。既存設備を改修せずに低コストかつ迅速に導入でき、監視制御サーバーを設置することで複数拠点を同時に統合監視できます。

(https://www.tv-hokkaido.co.jp/special/virtual-master/)

▼VMO 過去の受賞歴

- 北海道総合通信局長表彰(2025)
- INTER BEE AWARD コンテンツ制作/放送・メディア (ハードウェア&ソフトウェア) 部門「準グランプリ」受賞(2024)
- ・ 映像情報メディア学会 進歩開発賞(現場運用部門)受賞(2023)
- · 民放連賞 技術部門「最優秀」受賞 (2023)

【問い合わせ先】

テレビ北海道:

札幌市中央区大通東6丁目12番地4

VMO 推進室 高橋寿也 Tel: 011-232-7157 技術・DX 推進局 高橋康二 Tel: 011-232-1122